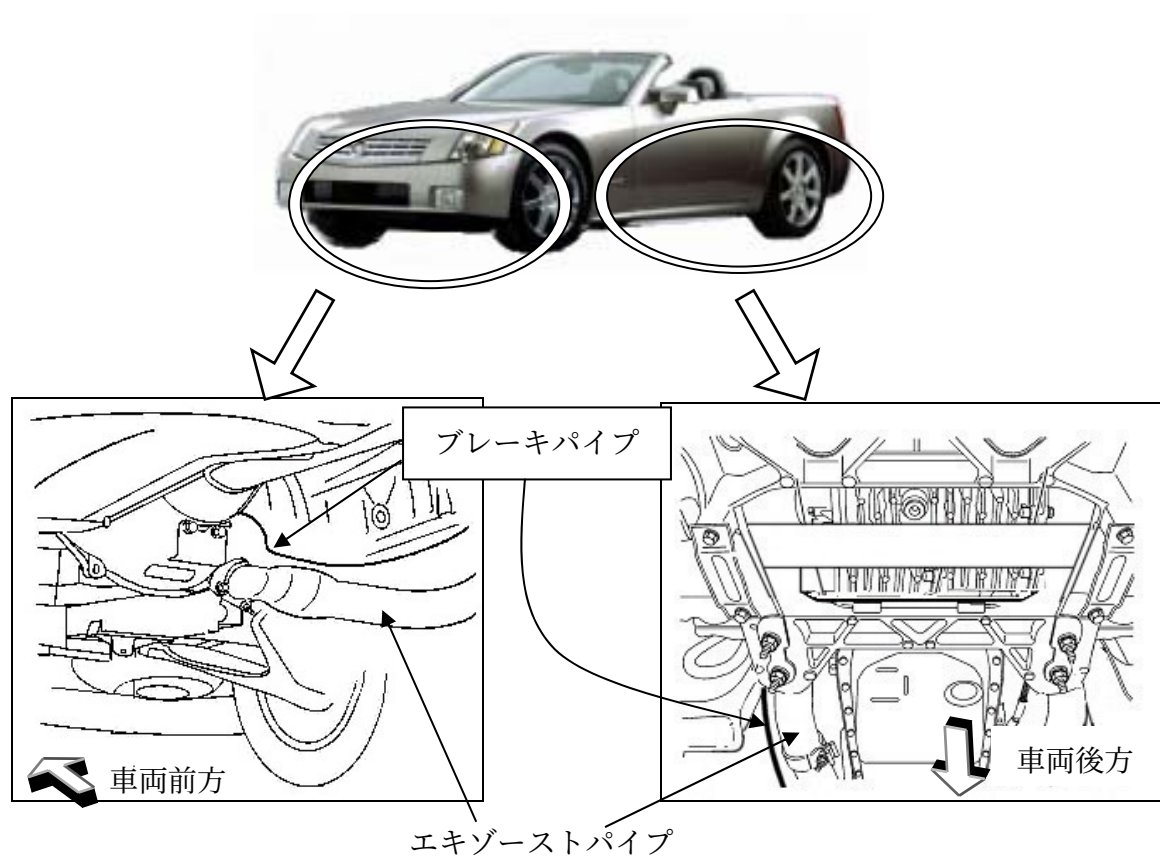


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

ブレーキパイプの一部が固定されていないものがあるため、走行中の振動等により排気管と接触し摩耗するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ブレーキパイプに穴が空き制動液が漏れ、最悪の場合、制動不能に至るおそれがある。

識別方法：左ストラットタワーに赤色ペイントを塗布。

<改善内容>

全車両、ブレーキパイプの取付状態を点検し、固定されていないものは正しく固定する。また、パイプに接触痕のある場合はブレーキパイプ（前部若しくは後部）を新品と交換する。

内は、交換部品（必要に応じ）を示す。